

“食”に携わる全ての企業様のために ——

～ 日本中の食と食、企業と企業を結びつけ

フード業界の発展に貢献 ～

株式会社インフォーマート

2008年12月期 中間決算説明資料



2008年7月30日

東証マザーズ(2492)

<b>I. 2008年12月期中間決算</b>	<b>… P1</b>
<b>II. EMP事業 について</b>	<b>… P7</b>
<b>III. ASP事業 について</b>	<b>… P13</b>
<b>IV. 今後について</b>	<b>… P17</b>
<b>V. 補足資料</b>	<b>… P20</b>



# I . 2008年12月期中間決算

「ASP事業」の成長が先行投資によるコスト増を吸収し、増収増益

(単位:百万円)

		07/12期 1Q	08/12期 1Q	増減率	07/12期 2Q	08/12期 2Q	増減率	07/12期 中間期	08/12期 中間期	増減率
売上高	EMP	259	264	1.7%	270	272	0.7%	530	536	1.2%
	ASP	264	329	24.3%	293	357	21.8%	558	686	23.0%
	合計	524	593	13.1%	564	630	11.7%	1,089	1,223	12.4%
売上原価	EMP	97	111	14.1%	107	123	15.6%	205	235	14.9%
	ASP	79	101	27.1%	87	102	17.3%	166	203	22.0%
	合計	177	213	19.9%	194	225	16.4%	372	439	18.1%
売上総利益	EMP	161	152	-5.9%	163	148	-9.1%	325	301	-7.5%
	ASP	184	227	23.1%	206	255	23.7%	391	483	23.4%
	合計	346	379	9.6%	370	404	9.2%	717	784	9.4%
販売費及び一般管理費		215	251	16.9%	224	240	6.9%	440	491	11.8%
営業利益		131	128	-2.5%	145	164	12.8%	277	292	5.5%
経常利益		131	129	-1.8%	145	165	13.4%	277	294	6.2%
四半期/中間純利益		72	74	3.0%	80	96	20.3%	153	171	12.1%
売上 総利益率	EMP	62.3%	57.7%	-4.6%	60.4%	54.6%	-5.9%	61.3%	56.1%	-5.2%
	ASP	69.8%	69.1%	-0.7%	70.4%	71.5%	1.1%	70.1%	70.4%	0.2%
	合計	66.1%	64.0%	-2.1%	65.6%	64.2%	-1.4%	65.8%	64.1%	-1.7%
売上高販管費比率		41.0%	42.4%	1.4%	39.8%	38.1%	-1.7%	40.4%	40.2%	-0.2%
売上高経常利益率		25.1%	21.8%	-3.3%	25.9%	26.2%	0.4%	25.5%	24.1%	-1.4%

〈EMP事業〉

- ・3システム統合の「ASP商談システム」の新規利用企業獲得は、順調に推移
- ・一方、従来の「食品食材市場・食材甲子園」の利用1年目の売り手企業の年間更新時において、解約数が増加し、利用企業数が純減
- ・売上高全体では、売り手企業が掲載する商品カタログ等の情報量の増加により、「決済代行システム」、「アウトレットマート」の取引に関する売上高が増加し、システム使用料の減少をカバー

〈ASP事業〉

- ・引き続き、「ASP受発注システム」の新規稼働が順調
- ・フード業界各社の安心・安全対策強化の流れを受け、「ASP規格書システム」の新規稼働が増加

〈コスト面〉

- ・サーバー増強によるデータセンター費及びシステム開発強化によるソフトウェア償却費が増加(売上原価)
- ・営業人員の強化、事務所の増床により販管費が増加

〈利益面〉

ASP事業の利用企業数拡大によるシステム使用料の増加が、事業拡大のための先行投資によるコストを吸収し、各利益が増加

(単位:社)

			2007/12期					2008/12期		
			1Q	2Q	3Q	4Q	通期合計	1Q	2Q	中間合計
EMP 事業	新規数	売り手	176	373	231	201	981	219	277	496
		買い手	121	166	146	125	558	135	141	276
		合計	297	539	377	326	1,539	354	418	772
	解約数	売り手	△ 199	△ 268	△ 251	△ 252	△ 970	△ 215	△ 327	△ 542
		買い手	△ 127	△ 141	△ 138	△ 149	△ 555	△ 138	△ 193	△ 331
		合計	△ 326	△ 409	△ 389	△ 401	△ 1,525	△ 353	△ 520	△ 873
	増減数	売り手	△ 23	105	△ 20	△ 51	11	4	△ 50	△ 46
		買い手	△ 6	25	8	△ 24	3	△ 3	△ 52	△ 55
		合計	△ 29	130	△ 12	△ 75	14	1	△ 102	△ 101
	期末 利用 企業数	売り手	2,130	2,235	2,215	2,164	—	2,168	2,118	—
		買い手	2,212	2,237	2,245	2,221	—	2,218	2,166	—
		合計	4,342	4,472	4,460	4,385	—	4,386	4,284	—
ASP 事業	新規数	売り手	861	717	779	628	2,985	403	593	996
		買い手	25	39	38	40	142	39	49	88
		合計	886	756	817	668	3,127	442	642	1,084
	解約数	売り手	△ 35	△ 55	△ 55	△ 105	△ 250	△ 79	△ 76	△ 155
		買い手	△ 5	△ 6	△ 4	△ 7	△ 22	△ 11	△ 12	△ 23
		合計	△ 40	△ 61	△ 59	△ 112	△ 272	△ 90	△ 88	△ 178
	増減数	売り手	826	662	724	523	2,735	324	517	841
		買い手	20	33	34	33	120	28	37	65
		合計	846	695	758	556	2,855	352	554	906
	期末 利用 企業数	売り手	10,308	10,970	11,694	12,217	—	12,541	13,058	—
		買い手	331	364	398	431	—	459	496	—
		合計	10,639	11,334	12,092	12,648	—	13,000	13,554	—
合計 FOODS Info Mart 利用企業数	調整値	売り手	—	—	—	—	—	△ 119	△ 284	—
		買い手	—	—	—	—	—	0	0	—
		合計	—	—	—	—	—	△ 119	△ 284	—
期末 利用 企業数	売り手	12,438	13,205	13,909	14,381	—	14,590	14,892	—	
	買い手	2,543	2,601	2,643	2,652	—	2,677	2,662	—	
	合計	14,981	15,806	16,552	17,033	—	17,267	17,554	—	

〈EMP事業〉

- ・当中間期では、ASP受発注システムの利用企業284社が「ASP商談システム」の利用を開始(→調整値)
- ・第2四半期において、従来の「食品食材市場・食材甲子園」の利用1年目の売り手企業解約数が増加し、「EMP事業」の利用企業数は純減

〈ASP事業〉

- ・「ASP受発注システム」の拡大が引き続き順調、買い手71社が新規稼働
- ・安心・安全対応強化を背景に、「ASP規格書システム」の受注増加、買い手29社が新規稼働
- ・以上により「ASP事業」の利用企業数は、売り手企業、買い手企業、共に順調に増加

(注)事業別の利用企業数は、各事業のシステムを利用する利用企業数を表示しており、「FOODS Info Mart」全体合計は、重複する利用企業数を「調整値」として差し引き、正味の全体企業数を表示しております。「調整値」は、主に既存のASP事業の利用企業で、当中間期においてEMP事業の「ASP商談システム」を新規で利用を開始した利用企業数となっております。

当中間期は、減益予想に対し、増益の結果となりました

## ■業績

(単位:百万円)

		2008/12期					
		中間期(予想)※		中間期(実績)		通期(予想)※	
		金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比
売上高	EMP事業	520	-2.0%	536	+1.2%	1,198	+12.7%
	ASP事業	702	+25.7%	686	+23.0%	1,542	+27.2%
	合計	1,222	+12.2%	1,223	+12.4%	2,740	+20.4%
営業利益		247	-11.0%	292	+5.5%	747	+19.9%
経常利益		248	-10.5%	294	+6.2%	750	+20.2%
中間/当期純利益		137	-10.7%	171	+12.1%	413	+9.0%

※2008/2/13発表

## ■利用企業数

(単位:社)

		2008/6末		2008/12末	
		実績	前期末比	予想	前期末比
EMP事業	売り手	2,118	-46	2,764	+600
	買い手	2,166	-55	2,261	+40
	合計	4,284	-101	5,025	+640
ASP事業	売り手	13,058	+841	14,117	+1,900
	買い手	496	+65	591	+160
	合計	13,554	+906	14,708	+2,060
調整値(-)	売り手	-284	-284	-700	-700
	買い手	-	-	-	-
	合計	-284	-284	-700	-700
合計 FOODS Info Mart 全体	売り手	14,892	+511	16,181	+1,800
	買い手	2,662	+10	2,852	+200
	合計	17,554	+521	19,033	+2,000

## 〈EMP事業〉

・利用企業数の純減によりシステム使用料売上高は計画を下回ったものの、「決済代行システム」及び「アウトレットマート」の取引に関する売上高の増加により中間期売上高予想を上回る

・下期は、引き続き、「ASP商談システム」に注力し、利用企業数予想数値への到達を目指す

## 〈ASP事業〉

・中間期売上高予想を若干下回ったものの、下期における「ASP受発注システム」の大型プロジェクトの開始及び「ASP規格書システム」が順調に進む予定から、計画通りに進捗する見込み

## 〈利益面〉

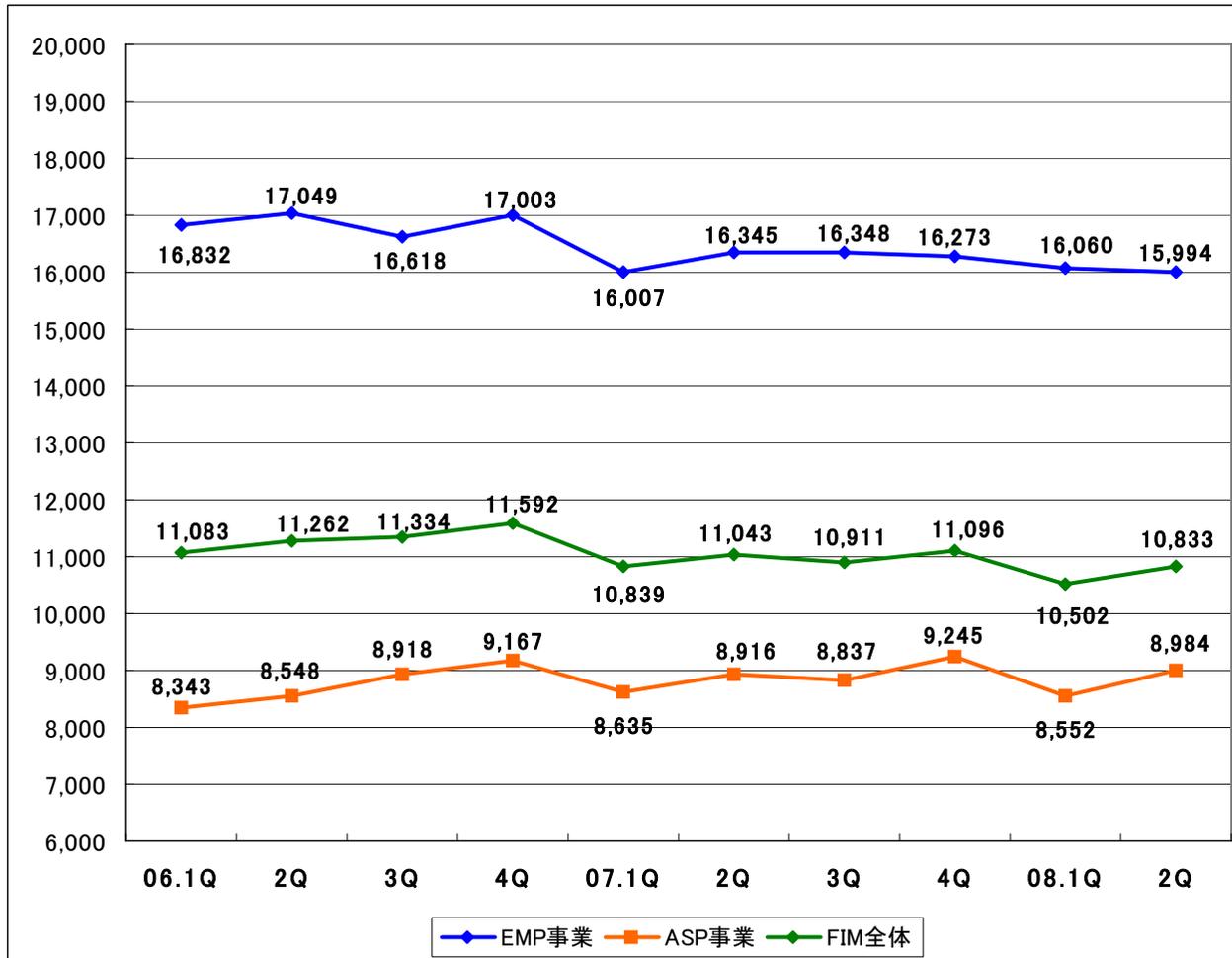
・ソフトウェア償却費(売上原価)が、保守的に組んでいた計画値を下回り推移

・データセンター費(売上原価)の一部及び販促費等(販管費)のコストの一部が下期へ期ずれ

・以上のコスト要因により、営業、経常、中間純利益は、当初の前年同期比減益予想に対し、増益の結果

通期の業績予想は、  
前回公表(2008年2月13日)と変更ありません

(単位:円)



## 〈EMP事業〉

・「ASP商談システム」新規数増加によるARPU上昇は下期以降

## 〈ASP事業〉

・「ASP規格書システム」の既存企業の利用拡大がARPU上昇へ影響

## 〈全体〉

・「ASP事業」のARPU上昇により08/1Q比で上昇

## ■2008年度予想ARPU (2008/4Q)

EMP事業	17,000円
ASP事業	9,600円
FOODS Info Mart 全体	12,000円

**FIM全体ARPUの中期目標: 20,000円**

(注)上記ARPU数値は、各四半期の売上高(EMP事業のアウトレット取引は、売上総利益で計算)と四半期平均利用企業数により計算しております。

## 増収増益を達成し、基本配当性向50%により増配を継続いたします

### ■ 1株当たり配当金予想

(単位:円)

	2007／12期 実績	2008／12期 予想	前期比
中間配当	1,550	2,840	—
期末配当	3,960	2,840	—
年間合計	5,510	5,680	+170

※2008/12期中間配当は、2008年7月29日開催の取締役会で決議いたしました。

(効力発生日:2008年8月29日)

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、経営成績の向上及び財務体質の強化を図りつつ、業績に応じた成果の配分(基本配当性向 50.0%)を継続的に行うことを配当政策の基本方針としております。



## Ⅱ. EMP事業について

## ①食材甲子園の利用企業について…

2008年1月～6月末までに1年目の満期を迎えた食材甲子園(売り手)参加企業…274社  
更新率は33.2%で91社となります。

利用1年目を終了し、2年目よりシステム使用料が団体パック料金から標準料金となること、また1年間会社として活用できず、成果が出せなかった企業の解約が増加。

## ②旧食品食材市場の利用企業について…

2008年1月～6月末までに1年目の満期を迎えた旧食品食材市場(売り手)参加企業…277社  
更新率は40.8%で113社となります。

2008年1月～6月末までに1年目の満期を迎えた旧食品食材市場(買い手)参加企業…285社  
更新率は56.1%で160社となります。

旧食品食材市場で参加した企業も1年目の更新率が低く、2年目以降は売り手更新率68.1%、買い手更新率77.0%と向上しております。

### 課 題

会社としての活用促進が進まず、1年で成果が出なければ退会する企業が多くなってきている

### 対策

①、②いずれも、食材甲子園、旧食品食材市場の活用を日常業務に落とし込むことが出来なかった企業、スポットでの利用しか出来なかった企業が解約となっているため、日々の商談業務で利用いただくための仕組み・仕掛けの提供を新たに開始しております。

## 1. システム面での対策

### フード業界における商談の共通課題

既存取引先との商談業務に課題がある

新規取引先との商談業務に課題がある

社内の商談体制にも課題がある

### ニーズの把握

ASP商談システムが  
3つの課題を  
解決できるシステムへ

### 問題解決できる仕組みへと再構築

取引先と使えるグループウェアとしての仕組み

業界で使えるグループウェアとしての仕組み

社内で使えるグループウェアとしての仕組み

## 2. 買い手に向けた対策

買い手利用企業より取引先リストを回収

+ 合計1,000社に取引先リストを提出いただく

ASP受発注システム活用企業への導入促進

- ・取引先のインフォーマット加入状況マッチング
- ・取引先と共に利用できる環境の初期設定

=その結果=

①未参加売り手企業8,000社

②ASP受発注システムのみ  
の  
利用企業9,000社

合計17,000社への案内が必要

## 3. 売り手に向けた対策

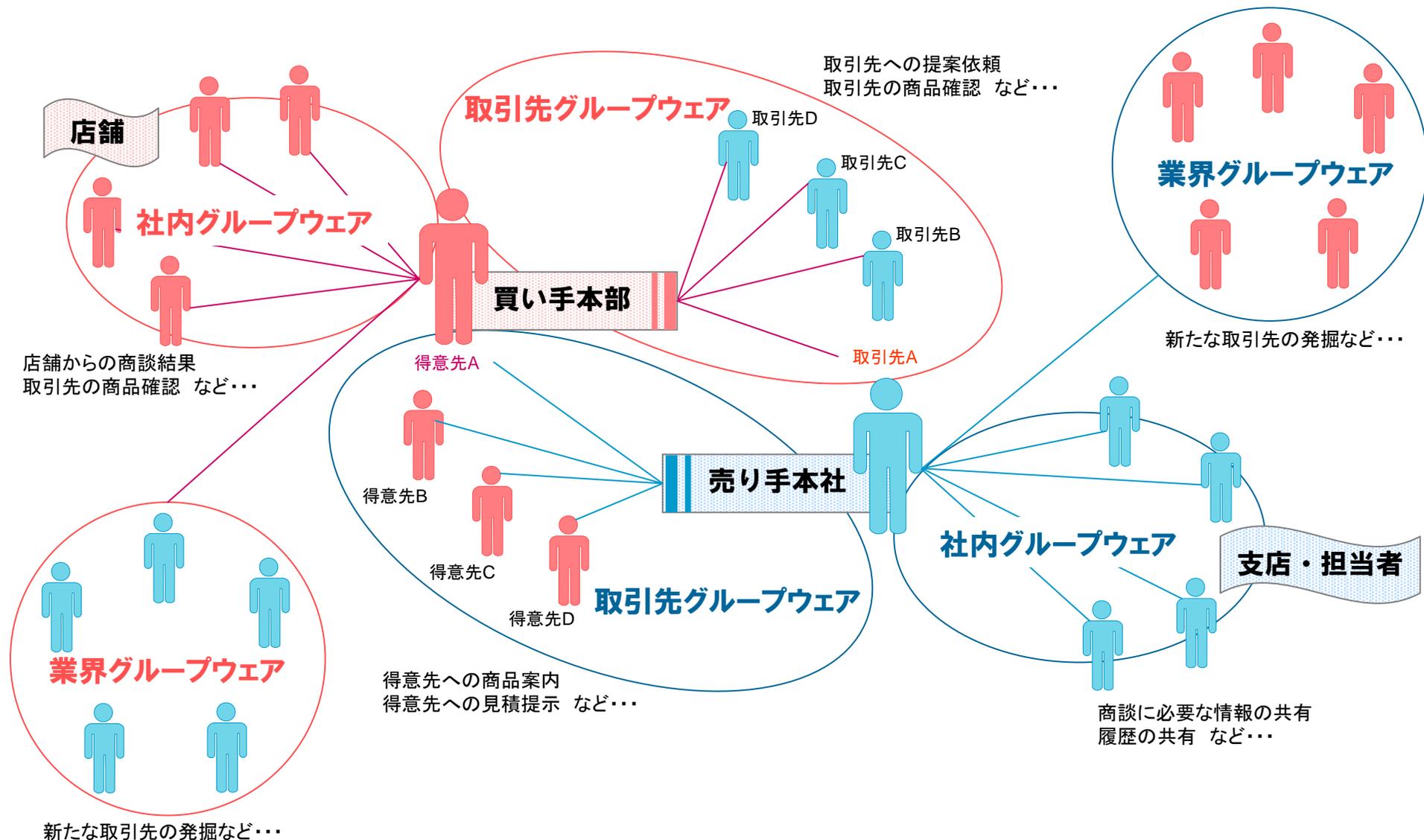
商品カタログアップキャンペーン実施

前中間期末の商品カタログ数 7万アイテム →  
当中間期末の商品カタログ数 14万アイテム

流通・取引の活性化に

**3つの取組みで拡充しながら、新しい商談システムの形をつくり始めています！**

～取引先と業界と社内を結んでつなぎ、  
日々発生している煩雑な業務をスリム化します～



買い手利用企業



社内グループウェア

既存取引先と活用  
取引先グループウェア

新規取引先と活用  
業界グループウェア

売り手利用企業



社内グループウェア

購買に営業に  
毎日使える豊富なツール

提案募集

サンプル依頼

見積書

比較検討

ダウンロード

予定表

見積提出

取引履歴

商品案内

カタログ印刷

PDF



取引先コード	会社名	業種	マイクド	備註	得意店	得意店	得意店
A-270	村上食品 株式会社	食品	270	備註	備註	備註	徳川太郎
A-256	株式会社インフォーズ	食品	76	備註	備註	備註	安田健二

得意先情報: スパダティニ 株式会社

得意先住所: 東京都中央区

得意先業種: 食品

得意先得意店: 東京都中央区

得意先得意店: 東京都中央区

得意先得意店: 東京都中央区

必須項目を赤字で入力して、「見積依頼」をクリックしてください。

【会社名】

【得意先】

【得意先住所】

【得意先業種】

【得意先得意店】

【得意先得意店】

【得意先得意店】

見積書

見積書

見積書

見積書

見積書

品名	単位	数量	単価	合計
小麦粉	kg	100	100	10000
砂糖	kg	100	100	10000
卵	個	100	100	10000

品名	単位	数量	単価	合計
小麦粉	kg	100	100	10000
砂糖	kg	100	100	10000
卵	個	100	100	10000

見積提出

見積提出

見積提出

見積提出

取引先	品名	数量	単価	合計
村上食品	小麦粉	100	100	10000
村上食品	砂糖	100	100	10000
村上食品	卵	100	100	10000

商品案内

商品案内

商品案内

商品案内

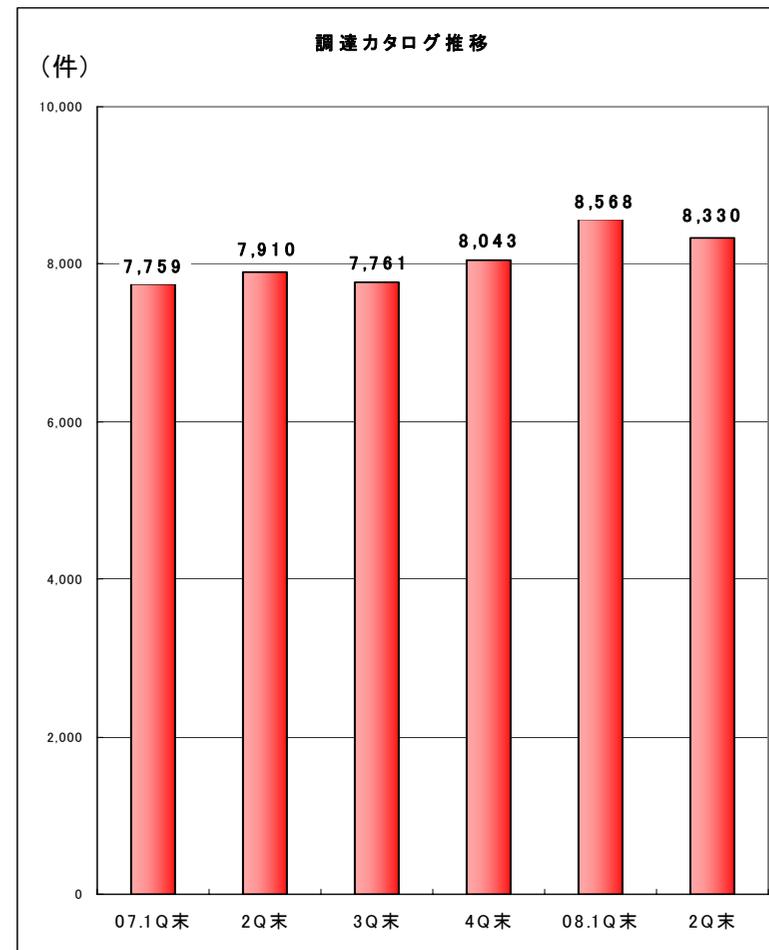
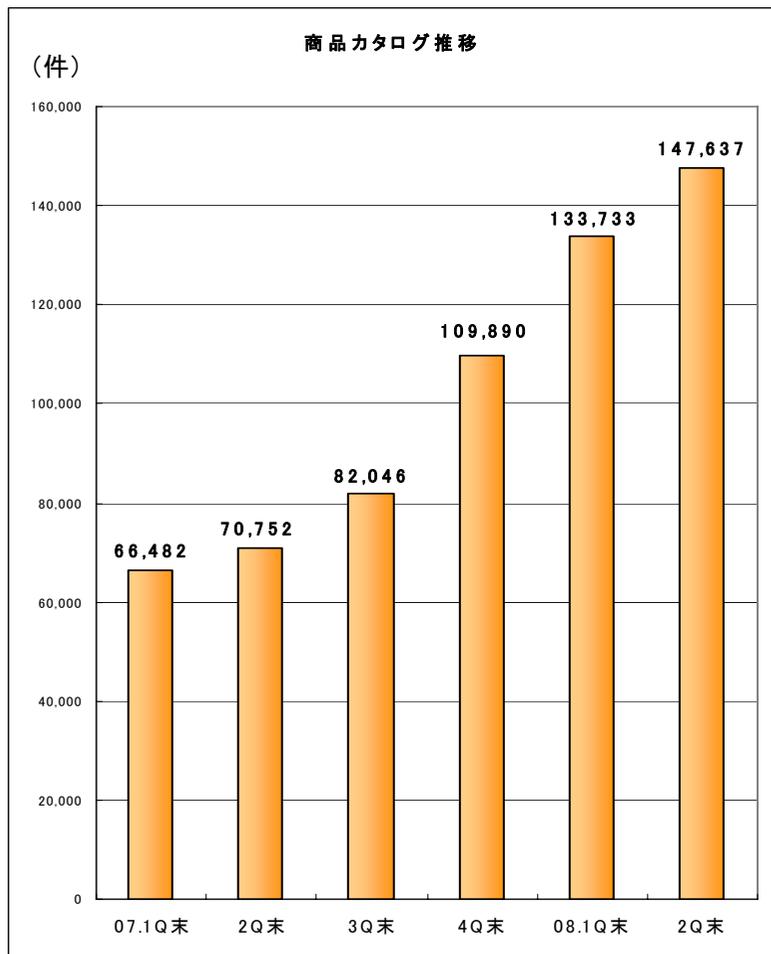
カタログ印刷

カタログ印刷

カタログ印刷

カタログ印刷

## ASP商談システムの開始により商品カタログ数は倍増、これに伴い調達カタログも増加傾向



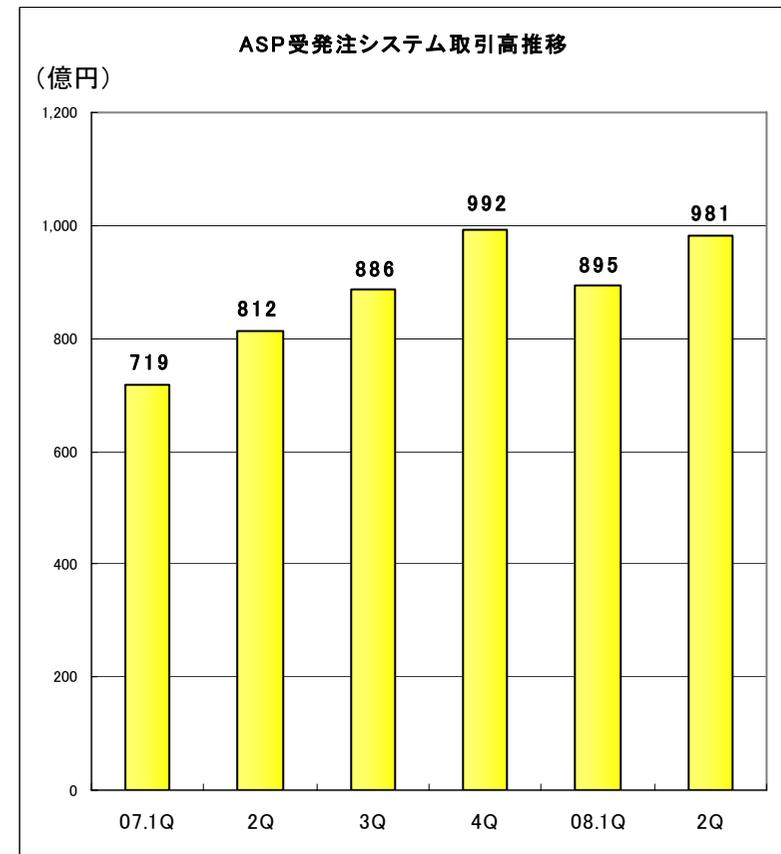
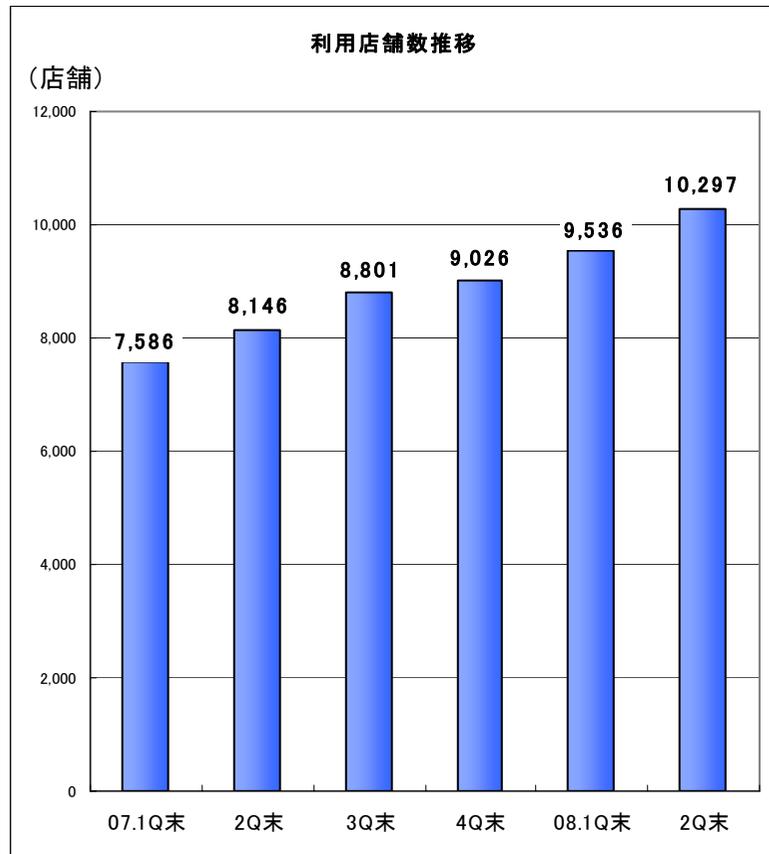
「ASP商談システム」の情報量の増加により、取引が活性化し、前年同期比で「決済代行システム」+5.7%、「アウトレットマート」+11.7%と、取引に関する売上が増加いたしました。



### Ⅲ. ASP事業について

## ASP受発注システム利用店舗数は1万店舗を突破！

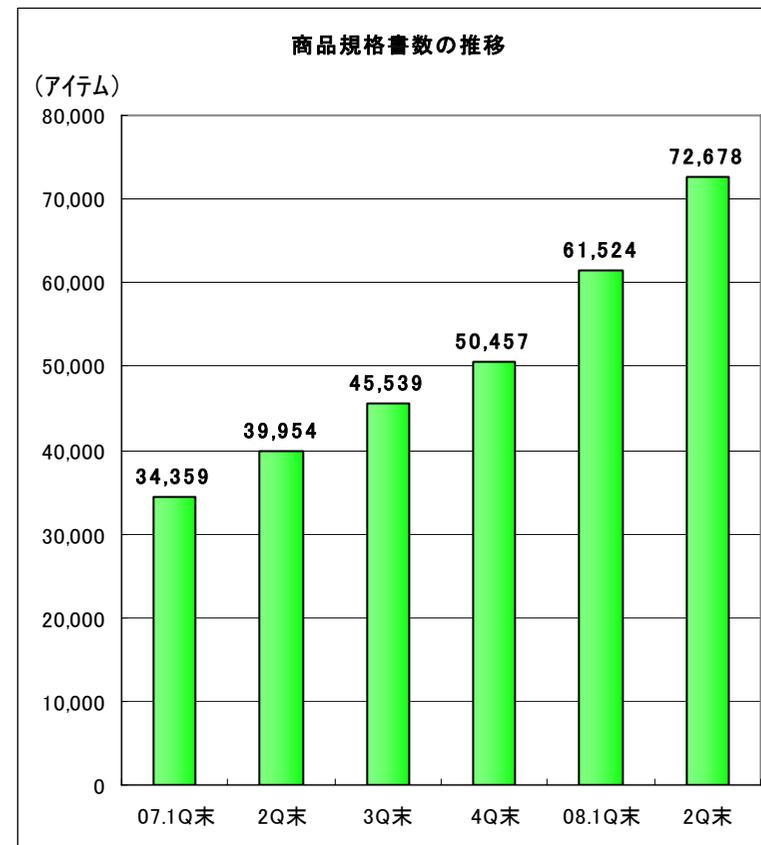
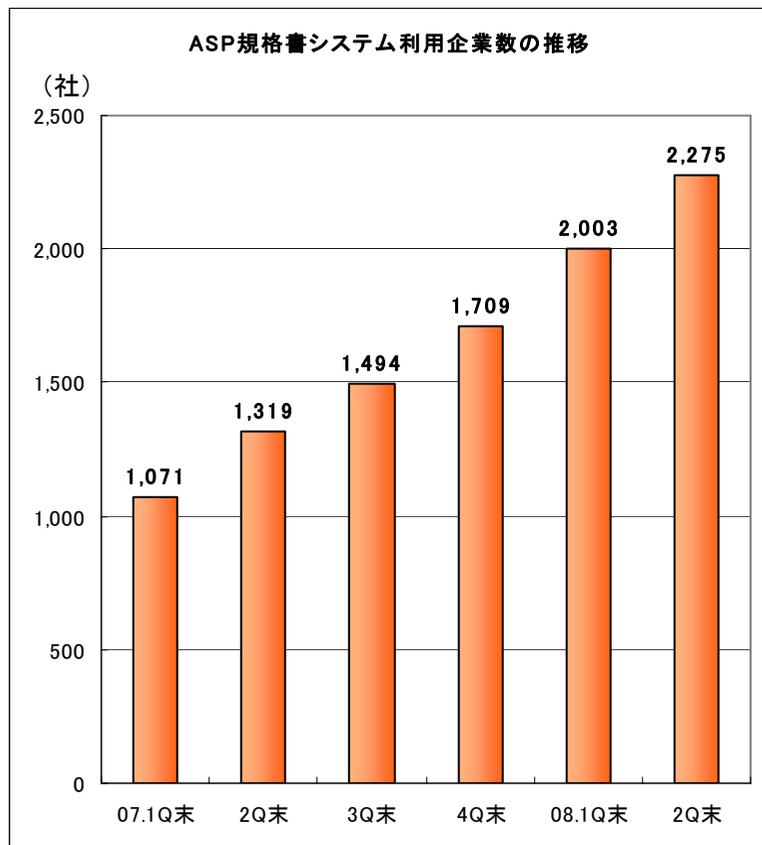
第2四半期のシステム取引高は、前年同期比20.7%増の981億円となり、順調に拡大



※2008年度のASP受発注システム年間取引高は4,500億円、**外食業界全体の約6.1%** (注) を目標としています。

(注) 2007年外食産業市場規模、24兆7,009億円(外食産業総合調査研究センター データより)から  
仕入金額を30%の前提で計算すると7兆4,103億円となり、当社2007年度取引高3,410億円は4.6%にあたります。(当社計算による)

昨今の食に関する事件等によるフード業界各社の食の安心・安全対策強化の流れを受け、  
「商品規格書」の必要性が一層高まりました



「FOODS信頼ネット」は、業界標準化をさらに進める目的で、業界ニーズに直結した  
わかりやすい名称「ASP規格書システム」への名称変更及びシステムの刷新を3月に実施。

## 「ASP受発注システム」の中期目標:「2+8=10目標」

～目標買い手店舗数:2万店舗 + 目標年間受発注取引高:8,000億円(外食産業全体の10%シェア)～

今後は、売り手企業との取組みをこれまで以上に強化。外食業界における受発注業務の効率化を目指す、ASP受発注システムを利用する売り手企業と結ぶパートナーシップ「**アライアンスパートナー制度**」を更に拡大し、システム化していない買い手の紹介を導きながら業界標準化を推進。  
ASP規格書システムについても同様に、パートナーを増やし業界全体で利用できるツールとして普及を促進。



売り手企業が得意先40社／1,000店舗とASP受発注システムを利用中の場合・・・

### システム使用料の費用対効果

ASP受発注システム  
システム使用料  
月額25,000円

1店舗あたり  
システム使用料  
月額**25円!**

得意先(買い手)が  
増えるほど1店舗あたりの  
システムコストが削減

### 受注業務のコスト削減

電話・FAXの受注

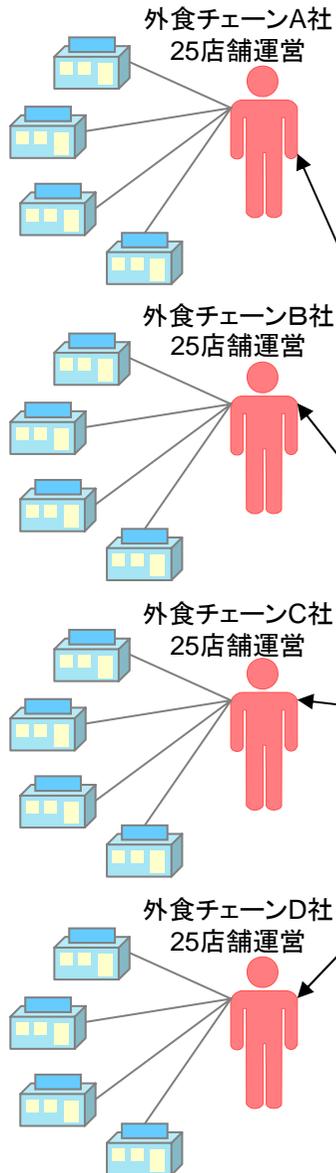
- 受注の入力作業
- 伝表発行の作業
- 紙詰まり・聞き違い等による受注ミス

システム化により

- 受注の入力削減
- 伝表発行の削減
- 発注の履歴化
- 請求業務の簡素化
- 通信費・紙代経費削減

得意先(買い手)が  
増えるほど1店舗あたりの  
受注業務コスト/時間が削減  
(実例)1,000店舗受注  
年間削減額 1,600万円

売り手企業A  
(総合卸)





## IV. 今後について



業界初!

2007年9月17日 フード業界の展示会・イベント・セミナー情報を集めた会員制ポータルサイト「食覧会.COM」(シヨクランカイドットコム)を新たに開始いたします

これまでの実績

これまで、展示会主催者よりFOODS Info Mart利用企業の来場集客を依頼されております。

◆(社)日本セルフ・サービス協会主催  
2008スーパーマーケット・トレードショー **168社/1083名集客**

◆(株)日本食糧新聞社主催  
ファベックス2008 **485社/2046名集客**

◆トレードショーオーガナイザーズ(株)主催  
居酒屋産業展2008 **266社/1112名集客**

これまでの集客方法は弊社メールマガジンなどが中心でした。食覧会.COMをオープンさせることで告知の幅が広がり、更なる集客を期待できると主催者からも注目されております。

目的

フード業界に従事する方々へ有益な情報・機能を提供し、リアル商談へのサポートを行う。

目標

フード業界の方のみ4万人からスタートさせ、初年度10万人の会員登録を目指します。

効果

- 商品開発やマーケティングなどこれまでインフォーマットを利用していない職種の担当者にも活用を促進。
- 業界の企業・団体とのタイアップ。
- 広告による収入モデルを検討 など

## 口コミで広まる”食“のイベント情報

全国の展示会・セミナー情報を一挙ご紹介!

**食覧会.COM**

TOPページ | 来場者向 イベント情報 | 出展者向 出展募集 | 主催者向 情報掲載 | バックナンバー

TOP

初めての方へ | 最新イベント情報掲載

注目のイベント

**食の大展示会2008**

全国から食材が集まる食業界関係者必見展示会  
2008年8月1日(金),1日(土),12日(日)  
会場: 東京 X X 展示場

イベント 食の大展示会2008 [詳しく見る](#)

全国から食材が集まる食業界関係者必見の展示会です! また今後の食業界の活性化を考えるセミナー講演も開催

■2008年08月1日(金)~2008年08月12日(日) ■会場: 東京XX展示場  
■入場チケット応募 ■昨年のレポートを見る

近日開催のイベント

イベント **福X県物産展** [詳しく見る](#)

福X県の名産品が一同に! ご来場お待ちしております

■2008/08/0X(土)~2008/08/0Z(日)10:00~17:00(最終日のみ16:30)  
■福X県商工会議所

品質管理セミナー [詳しく見る](#)

スーパーにおける品質管理のノウハウを、実例を交えご説明します

■2008/08/0Y(金)14:00~16:40  
■インフォーマット本社ビル(東京都港区)

会期	イベント名	地域	会場
2008/08/×	イベント 松王商事秋の大商談会	東京	松王商事本社
2008/08/×	セミナー 販路拡大セミナー	東京	芝Xクホテル
2008/09/×	イベント ガルツEXPO	大阪	インXクス大阪
2008/09/×	イベント さくらだ銀行主催 食の博覧会	福岡	福Xドーム

FEATURES

**飲食産業 フードショー**

【参加レポートUP!】たくさんのご来場ありがとうございました!!

■第6回 飲食産業フードショー 参加レポート [詳しく見る](#)

インフォーマットが飲食産業フードショーに参加しました! 参加レポートをぜひご覧ください。

イベント新着情報

これから参加できる最新の食のイベント情報

イベント

ト国際オーガニックフェア  
2008/09/×

東京: ロム貿易センター  
○X 県物産展  
2008/10/×

東京: ロムビル

セミナー

ト飲食店経営セミナー  
■2008/10/×

■東京: ロムホテル○の間  
ト仕入管理セミナー  
■2008/11/×

■東京: ○X 健保会館会議室  
ト食の安全・安心セミナー  
■2008/11/×

■大阪: ロムフォーラム

メディア掲載情報

あの企業がメディアで紹介される! ビジネスのヒントをチェック

テレビ

ト株式会社FIMフーズ  
■2008/08/×

トテレビO X  
■ワールドビジネスNEWS

雑誌

トABCホテル株式会社  
■2008/09/×

ト雑誌「Oム経済7月号」  
トフーズ物産株式会社  
■2008/09/×

ト雑誌「運間Oム...

ウェブ

ト株式会社インフォーマット  
■O X 産業振興会  
トオフィシャルページ



## V. 補足資料

～ 日本中の食と食、企業と企業を結びつけ フード業界の発展に貢献 ～

企業間電子商取引(BtoB)プラットフォームでお客様同士、お客様と共に Win to Win collaboration を創出する

## 【会社概要】

(2008年6月末現在)

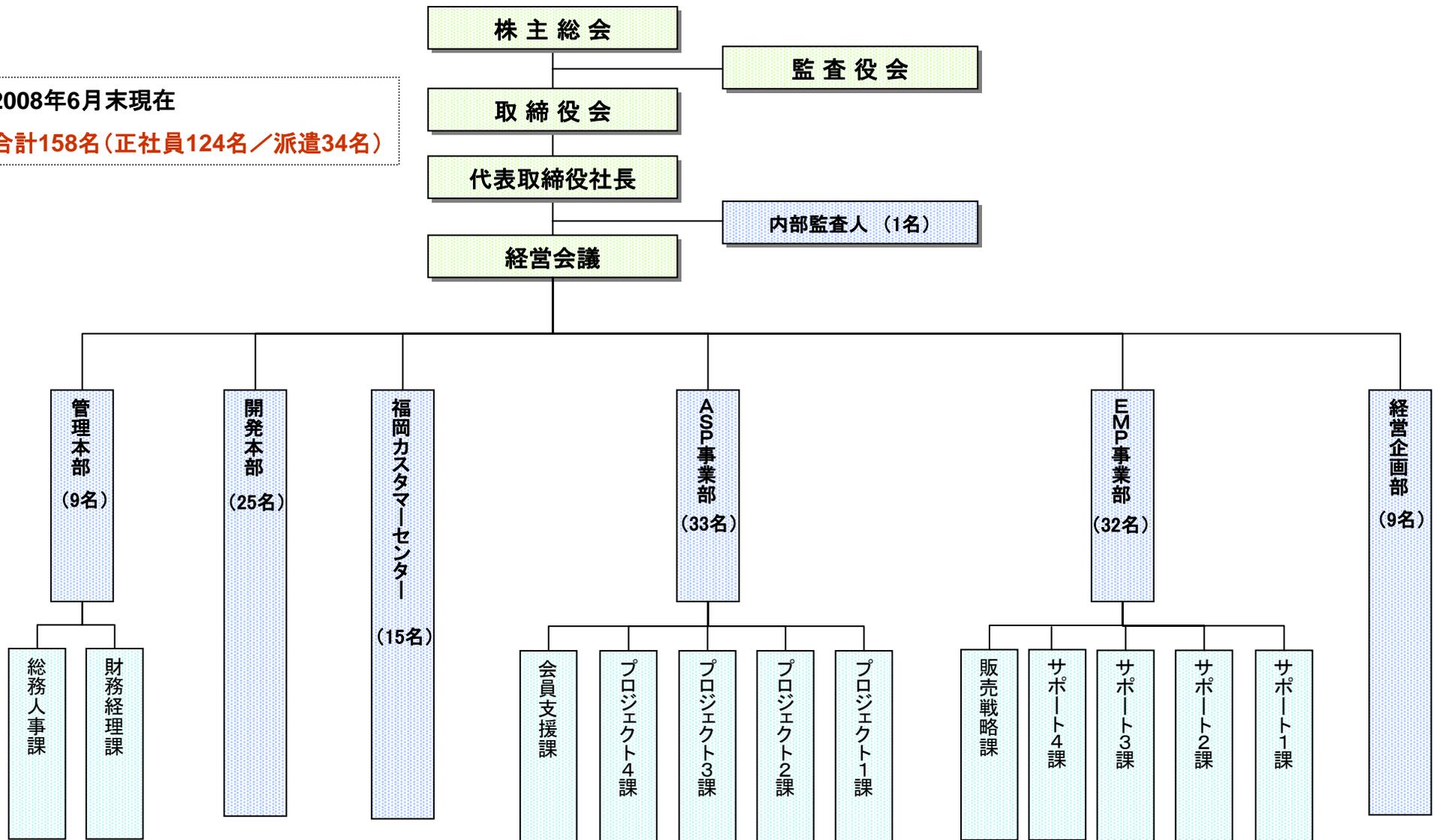
商号	株式会社インフォマート (Infomart Corporation)
代表取締役	村上 勝照
事業内容	フード業界企業間電子商取引プラットフォーム フーズインフォマート(FOODS Info Mart)」の運営
本社所在地	東京都港区浜松町1-27-16 浜松町DSビル
設立	1998年2月13日
営業所	福岡カスタマーセンター
資本金	9億9,997万円
従業員数	158名(正社員124／派遣34)
主要取引銀行	(株)三菱東京UFJ銀行(浜松町支店) (株)みずほ銀行(赤坂支店)
共同事業先	(社)日本フードサービス協会、(社)日本セルフ・サービス協会

## 【沿革】

1998年 2月	会社設立
1998年 6月	「食品食材市場」のサービス開始
2000年 6月	社団法人日本フードサービス協会と外食産業向 JF FOODS Info Mart事業の共同事業開始
2000年11月	「決済代行システム」のサービス開始
2001年 6月	「アウトレットマート」のサービス開始
2001年 7月	社団法人日本セルフ・サービス協会と小売業界向 JSSA FOODS Info Mart事業の共同事業開始
2003年 2月	「ASP受発注システム」のサービス開始
2005年 4月	「FOODS信頼ネット」のサービス開始
2005年 4月	「WEB購買支援システム」のサービス開始
2006年 1月	「食材甲子園」のプロジェクト開始
2006年 8月	東京証券取引所マザーズ市場へ上場
2006年 9月	「外食応援団」のサービス開始
2006年 9月	「ASP受発注システム アライアンスパートナー制度」の開始
2007年 6月	「WEB販売支援システム」のサービス開始
2007年 7月	「ASP商談システム」のサービス開始
2008年 3月	「FOODS信頼ネット」を「ASP規格書システム」に名称変更
2008年 4月	新「ASP商談システム」のサービス開始

2008年6月末現在

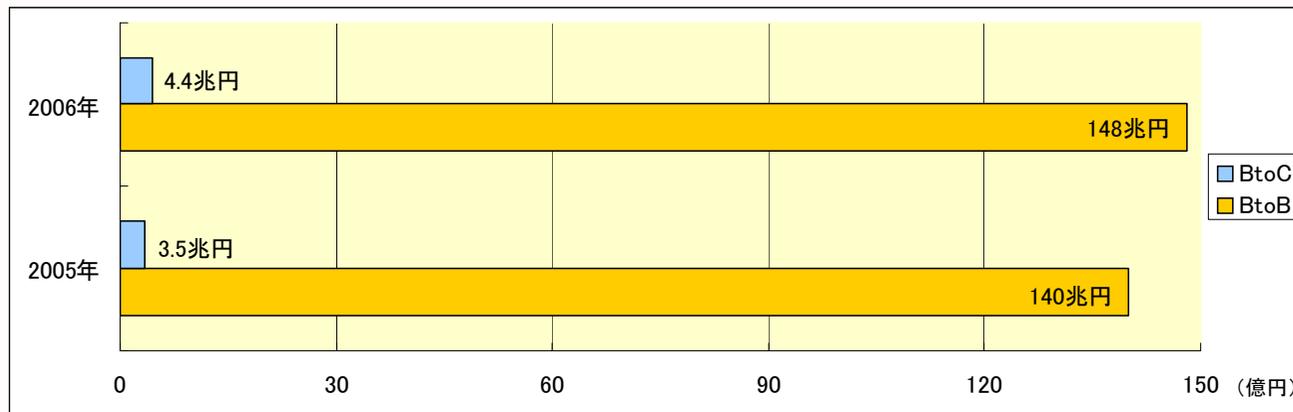
合計158名(正社員124名／派遣34名)



## ■ 市場規模の違い 株式会社インフォマートの事業は BtoB ビジネスです

### B2B と B2C の市場規模

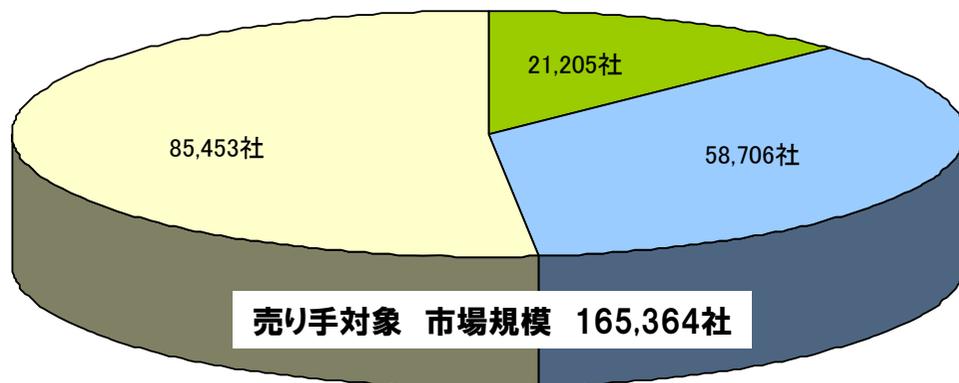
※参考 経済産業省 「平成18年度電子商取引に関する市場調査」より



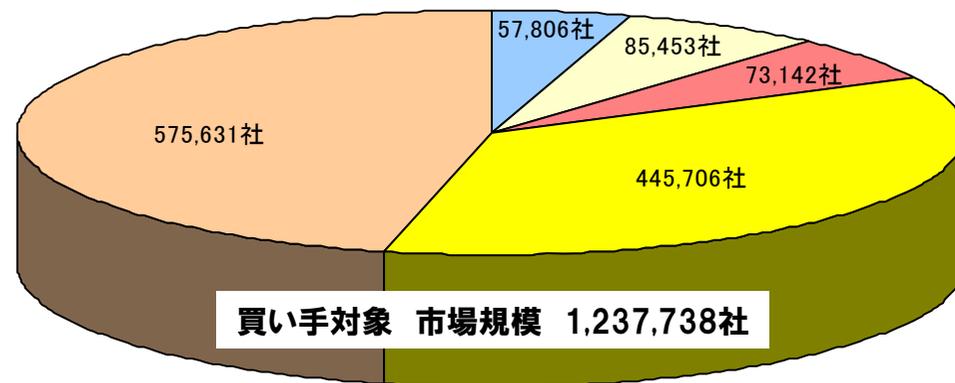
**BtoB市場はBtoC市場の  
約33倍の市場規模です**

## ■ 市場規模 サービスの利用対象企業は140万社です

■ 農・畜・漁業 ■ 製造業 ■ 卸売業



■ 製造業 ■ 卸売業 ■ 旅館・ホテル・レジャー ■ 小売業 ■ 外食



買い手 利用企業

スーパー・小売、レストラン、ホテル・旅館、給食・惣菜、通信販売会社、食品メーカー、卸売業・商社 等

売り手 利用企業

食品製造、生産者、卸売業・商社、農協・漁協、特産品業者、仲卸 等

## 課題 !

既存取引先の取扱商品を把握したい  
見積や提案を一斉に依頼・回収したい  
社内で商品情報や商談履歴を共有化したい  
新規の取引先を開拓したい  
.....

電話・FAX受発注を改善したい  
店舗別の仕入状況を把握したい  
低コストでシステムを導入したい  
.....

取引の商品規格書作成が大変  
商品規格書データを整備したい  
トレーサビリティシステム導入  
.....

## 企業間電子商取引プラットフォーム

フード業界の  
企業間グループウェア  
ASP商談システム

EMP事業

日々の受発注業務の効率化  
ASP受発注システム

ASP事業

安心と安全の仕組みづくり  
ASP規格書システム

ASP事業

## 解決 !

売上拡大・購買強化

コストダウン

Web受発注で業務効率化

コストダウン

データベースで業務効率化

コストダウン

当社の事業は、「EMP事業」及び「ASP事業」の2事業で構成されております。

## EMP事業

ASP商談システム	1. システム使用料 ・買い手企業 5,000円/月 ・売り手企業 25,000円/月
	2. アウトレット売上(商品売買による)

オプション機能	決済代行システム
---------	----------

## ASP事業

ASP受発注システム	1. システム使用料 ・買い手企業 本部：13,000円/月、店舗：1,300円/月 ・売り手企業 定額制もしくは従量制を選択 定額制 25,000円/月、11D追加：800円/月 従量制 月額取引金額の1% (月額取引10万円未満の場合無料)
	2. 初期費用(買い手のみ) 300,000円~1,000,000円

ASP規格書システム	1. システム使用料 ・買い手企業 30,000円/月、・売り手企業 5,000円/月
	2. 初期費用(買い手のみ) 200,000円~1,000,000円

オプション機能	1. ASP売上日報システム
	2. 新決済システム
	3. アップロード機能

システム使用料の売上比率 (2008/中間期 実績)  
**◆売上全体の84%**  
 (EMP事業：69%/ASP事業：95%)

システム使用料 スtock型の収益モデル

※上記金額は税抜です。

## 2008年 タイトル記事一覧

- 2008年 7月21日 [流通ジャーナル 6面] インフォマート ITで商品開発を効率化
- 2008年 7月15日 [冷食タイムス 6面] 展示会情報サイト運営 食材B2Bのインフォム
- 2008年 7月15日 [冷食タイムス 6面] インフォムのASP利用1万店
- 2008年 7月11日 [日本食糧新聞 1面] 食品関連展示会ポータルサイト開設
- 2008年 7月11日 [日本食糧新聞 11面:機械・IT] インフォマート受発注システム 利用者1万店舗を突破
- 2008年 7月8日 [ドリームゲート] 起業家インタビュー 「MY BEST LIFE 挑戦する生き方」
- 2008年 7月7日 [冷食タイムス] インフォマート、展示会情報サイト運営
- 2008年 7月4日 [冷食タイムス] インフォマート、ASP利用1万店突破
- 2008年06月30日 [食品工業7月号] インフォマートとびわこ銀行が連携
- 2008年 6月30日 [日経流通新聞 5面:総合] 食イベントの情報提供 インフォマート、会員制サイト開設
- 2008年 6月21日 [読売新聞 38面:社会] 食ショック期限間近、アウトレットで
- 2008年 6月19日 [水産タイムス] インフォマート、ASP受発注1万店突破
- 2008年 6月16日 [外食日報] インフォマート、外食1万店がASP受発注システム活用
- 2008年 6月15日 [読売新聞 31面:地域] 滋賀の味、サイトで発信 「食材甲子園」に8月開設
- 2008年 6月6日 [京都新聞 11面:地方経済] びわこ銀行、電子商取引で、食品企業支援
- 2008年 5月29日 [日本経済新聞:地方経済] びわこ銀など、食材の販路拡大、サイト使い支援
- 2008年 5月26日 [フジサンケイビジネスアイ] 大久保秀夫のトップ訪問 インフォマート
- 2008年 5月15日 [日刊 食品速報] 外食と野菜 安心安全のためにトレースできる仕組みを
- 2008年 4月22日 [近代食堂5月号] インフォマートが10周年で新サービスを開始
- 2008年 4月22日 [財界 春季特大号] トップは挑戦する
- 2008年 4月22日 [Forbes日本版 6月号] 自治体、地銀などがネット取引で地場産品を掘り起こし
- 2008年 4月19日 [月刊食堂5月号] インターネット食材購買のいま
- 2008年 4月11日 [日本食糧新聞 5面] インフォマート、電子商取引と商談業務支援 システムを統合
- 2008年 4月1日 [冷食タイムス 6面] インフォマート、ASP規格書システム刷新 食品不祥事多発で需要拡大
- 2008年 3月31日 [日経流通新聞 5面:総合] 商談・取引先開拓同時に インフォマート、食材調達サイト刷新
- 2008年 3月21日 [日経流通新聞 19面:フードビジネス] 外食各社、安全対策を強化
- 2008年 2月20日 [北海道新聞 11面:経済] ネット商談 道産品好調 3ヵ月で10件成立
- 2008年 2月18日 [流通ジャーナル 4面] インフォマート BtoBで新規開拓を支援



最後に・・・

本日は、誠にありがとうございました。

フード業界に特化した

企業間電子商取引(BtoB)プラットフォームで

業界標準化を目指します。

株式会社インフォーマット

代表取締役社長 村上 勝照

当資料に記載された内容は、2008年7月30日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により予告なしに変更される可能性があります。

投資に際しての最終的な判断は、お客様自身がなされるよう、お願いいたします。

本資料は株式会社インフォマートによって作成されたものです。